

科目名	簿記演習Ⅰ（日商簿記1級コース）
年次	1年次
単位数	5
教員氏名	渡邊
到達目標	簿記理論を体系的に学び、日商簿記1級(商業簿記・会計学)に必要な知識を習得していく。
授業概要	簿記原理Ⅰ（日商簿記1級コース）の内容を実践し演習する。具体的には、日商簿記1級(商業簿記・会計学)の範囲内の論点にき、演習を通じてその理論及び計算方法を理解していく。
授業計画	<p>下記論点の問題演習を予定している。1コマは5時間である。</p> <p>1-2 商品売買の問題  3 棚卸資産の問題  4-5 割賦販売の問題  5 委託販売の問題  6 工事契約の問題  7-8 税効果会計の問題  9 現金預金取引  10-11 金銭債権・貸倒引当金の問題  12-13 有価証券取引  14 デリバティブ取引の問題  15 社債の問題  16-17 有形固定資産の問題  18 リース取引の問題  19 その他の資産の問題  20 引当金の問題  21 退職給付会計の問題  22-23 純資産（資本）の問題  24 本支店会計の問題  25 企業結合、合併の問題  26 株式交換・会社の分割の問題  27-32 連結会計の問題  33 外貨建財務諸表項目の問題  34 キャッシュ・フロー計算書の問題</p>
テキスト	T A C 出版 合格トレーニング日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
参考書	T A C 出版 合格テキスト日商簿記1級商業簿記・会計学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
評価方法	前期・後期試験及び出席、課題結果による。
準備学習等	前回までの演習内容の復習に加え、当日課題に指定された範囲の学習が必要となる。
備考	演習時間のほかに自習として日々最低1時間の勉強時間確保が必要となる。

科目名	簿記演習Ⅰ（日商簿記3級・2級コース）
年次	1年次
単位数	5
教員氏名	川口
到達目標	商業簿記の基礎から学び日商簿記2級の取得を目指す。
授業概要	簿記原理Ⅰ（日商簿記3級・2級コース）の内容を実践し演習する。具体的には、日商簿記3級・2級の範囲内の論点につき、演習を通じてその計算方法及び原理を理解していく。
授業計画	<p>下記論点の問題演習を予定している。1コマは5時間である。</p> <p>1 簿記一巡の理解確認</p> <p>2-3 B/S、P/Lの科目表示規定(組み換え処理)</p> <p>4-5 商品売買</p> <p>6-7 現金および預金</p> <p>8-9 債権・債務</p> <p>10 有価証券</p> <p>11 有形固定資産Ⅰ</p> <p>12 有形固定資産Ⅱ</p> <p>13 リース取引</p> <p>14 無形固定資産と研究開発費</p> <p>15 引当金</p> <p>16-17 外貨換算会計</p> <p>18 税金</p> <p>19 課税所得の算定と税効果会計</p> <p>20 株式の発行</p> <p>21 剰余金の配当と処分</p> <p>22-23 決算手続き</p> <p>24-25 収益の認識基準</p> <p>26 本支店会計</p> <p>25 合併と事業譲渡</p> <p>26-27 連結会計Ⅰ（資本連結）</p> <p>28-29 連結会計Ⅱ（連結財務諸表）</p> <p>30-31 連結会計Ⅲ（成果連結）</p> <p>32-33 連結会計Ⅳ（株主資本等変動計算書）</p> <p>34 製造業会計</p>
テキスト	T A C 出版 合格トレーニング3級、2級商業簿記トレーニング
参考書	T A C 出版 合格テキスト3級、2級商業簿記テキスト
評価方法	前期・後期試験及び出席、課題結果による。
準備学習等	前回までの演習内容の復習に加え、当日課題に指定された範囲の学習が必要となる。
備考	